Panasonic®

# SD-Jukebox Ver. 3.0

# 取扱説明書

**SDオーディオプレーヤーで音楽を楽しむ前に**

必ずこの取扱説明書に従って、SDメモリーカードに音楽を入れてください。

Windowsの基本操作やコンピューター、周辺機器の取り扱いについては、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書とSDオーディオプレーヤーの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

**松下電器産業株式会社　　AVCネットワーク事業グループ**

〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号



MSC0031CD_J_ZA　　MS1002SF1122

## 「SD-Jukebox」ご使用上のご注意

**「SD-Jukebox」は著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。**

- 「SD-Jukebox」は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。
  暗号化された音楽データを別のフォルダーやドライブ、他のコンピューターに移動／複写して使用することはできません。
- ご使用パソコンのプロセッサーならびにハードディスクの固有情報を暗号処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなります。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には専用の「SD-Jukeboxバックアップツール」が必要です。（☞ 53ページ）

- パソコンの環境によっては録音ができない、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接／間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- MMC（MultiMediaCard）を使用することはできません。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。

## ユーザー登録のお願い

SD-Jukeboxのご使用に際して、必ずユーザー登録をしていただきますようお願いいたします。ユーザー登録は、商品サポート情報やバージョンアップ情報、新製品のお知らせ、またアフターサービスのためにも必要です。
付属の登録はがきをご返信いただくか、インターネットの所定のホームページ上で登録してください。

● インターネット上で登録するには、

① SD-Jukeboxを起動後、WWWをクリックします。

② 表示されるホームページの画面の内容に従って入力します。

ホームページアドレス（ユーザー登録など）
**http://panasonic.jp/support/audio/**
**http://panasonic.jp/support/cn/sded/**

## 最新情報について

付属のCD-ROMのReadme.txtファイルには、SD-Jukeboxについての最新情報が掲載されています。あわせてご覧ください。

# もくじ

## 準備



## 使いかた



## 必要なときに

# 必要なシステム構成

SD-Jukeboxをお使いいただくためには、以下のような性能を満たしたIBM PC/ATまたはその互換機が必要です。

## 対応パソコン：下記対応のOS （日本語版）がプリインストールされたPC/AT互換パソコン

NEC PC-98シリーズおよびその互換機での動作は保証いたしません。
また、Macintoshなどでは動作しません。

## OS（日本語版）：Microsoft® Windows® 98/98 SE、Windows® 2000(Professional SP2/SP3)※、Windows® Me、Windows® XP(Home Edition/ProfessionalおよびSP1)※

Microsoft Windows 3.1/95、Windows NTでは動作しません。Windows 3.1/95からWindows 98/98SE、Windows 2000、Windows Me、Windows XPへのアップグレード環境での動作は保証しません。
※ デュアルCPU、マルチブート環境には対応していません。システム管理者（Administrator）のユーザーのみ使用可能です。

**Windows 98/98SE、Windows MeからWindows XPへアップグレードする場合**
「アップグレードインストール（推奨）」を選択してください。「新規インストール」を選択すると、Windows XPへアップグレードする以前にSD-Jukeboxで作成していた音楽データが使用できなくなります。

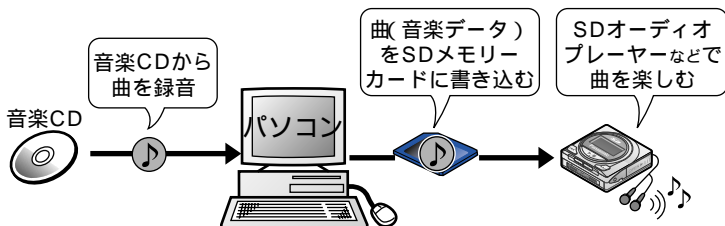
## ハードウェア

- CPU：Pentium® 233 MHz MMX 以上（Pentium® II 333 MHz以上推奨）
  Windows 2000、Windows XPの場合：Pentium® II 333 MHz以上（Pentium® III 500 MHz以上推奨）
- メインメモリー：64 MB以上
  Windows 2000、Windows XPの場合：128 MB以上
- ハードディスク：60 MB以上の空き容量（Windowsのバージョンや音楽データにより、別途空き容量が必要です。）
- ディスプレイ　：800 X 600ドット以上の解像度（1024 X 768ドット以上推奨）
  High Color（16ビット）以上に設定
- サウンドデバイス：Creative社Sound Blaster 16互換
- CD-ROMドライブ（インストールおよびCDの録音に必要）
  ：デジタル録音対応は必須で、4倍速以上を推奨
  （IEEE1394やUSBで接続するCD-ROMドライブなどでは、正常に録音できない場合があります。）
- USBポート（SDメモリーカードの接続に必要）
  （USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証いたしません。）
- DirectX 8.1以降を搭載
- CDDB機能を利用する場合は、インターネットへの接続環境

（1）推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
（2）お客様が自作されたパソコンについては動作保証いたしません。

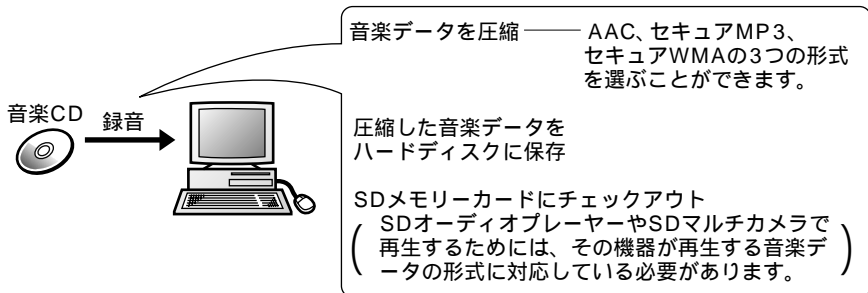
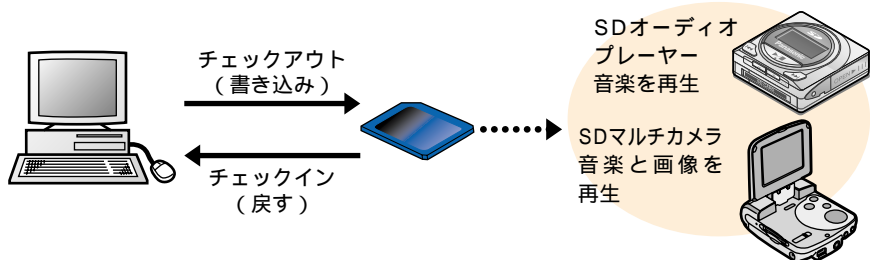
# お使いになる前に

## こんなことができます

SD-Jukeboxは、音楽CDの曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をSDメモリーカードに書き込んでSDオーディオプレーヤーやSDマルチカメラで楽しんだりするためのソフトウェアです。

さらに、

- パソコン上で曲名や曲順などを編集したり、曲を再生したりできます。
- そのときの気分に合う印象を選ぶと、「ミュージックソムリエ機能」が印象に合う曲を自動選曲します。
- 曲を再生しながら、ジャケット画像やお好みの静止画像を表示することができます。
- 音楽配信から入手した音楽データやSDオーディオレコーダーでSDメモリーカードに録音した曲を使用することもできます。
- CDDBのサイトに楽曲情報が登録されている場合は、音楽CDをかけるだけでアルバムタイトルなどの情報がダウンロードされます。
  （CDDBをご利用になるにはインターネットへの接続環境の設定、および各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です。）

- **「SD-JukeboxV1.x」をご使用のお客様へ**
  SD-JukeboxV1.xで作成した音楽データはSD-JukeboxV3ではご使用になれません。V1.xで作成した音楽データは、SD-JukeboxV1.xでご使用ください※。
  (SD-JukeboxV3のインストール後もV1.xはそのままご使用いただけます※)
  ※ Windows 2000およびWindows XPでは使用できません。
- **「SD-JukeboxV2.x」をご使用のお客様へ**
  ーSD-JukeboxV3とSD-JukeboxV2を同じパソコンにインストールしてご使用になることはできません。
  ーSD-JukeboxV3がインストールされているパソコンにSD-JukeboxV2をインストールすると、録音した音楽データが使えないなどの不具合が発生する場合があります。

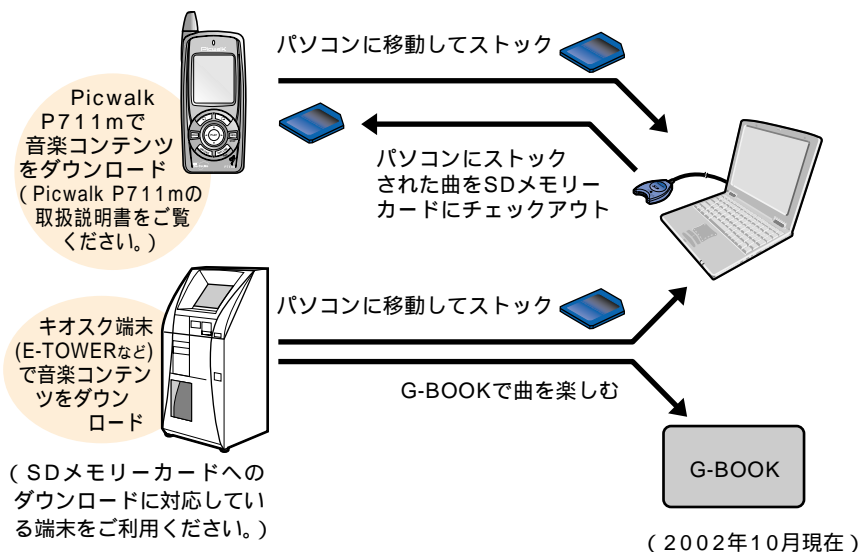
## 録音した曲は圧縮されて、パソコンに保存されます

## パソコンとSDメモリーカード間のデータのやりとり

パソコンに録音した曲（音楽データ）をSDメモリーカードに書き込むことを「**チェックアウト**」といいます。SDメモリーカードに曲をチェックアウトすると、SDオーディオプレーヤーなどで聞くことができます。
チェックアウトはひとつの音楽データにつき3回までできます。（これは著作権保護のために定められた制限です。）

また、SDメモリーカードからパソコンに曲を戻すことを「**チェックイン**」といいます。チェックインすると、パソコン側でその曲の残りチェックアウト回数が1回増えます。戻したデータを他のSDメモリーカードにチェックアウトすることもできます。

## 音楽配信サービスについて

「M-stage music」（ドコモの音楽配信サービス）から携帯端末Picwalk P711mを使ってSDメモリーカードにダウンロードした音楽コンテンツを使用できます。また、キオスク端末からSDメモリーカードにダウンロードした音楽コンテンツも使用できます。
音楽CDから録音した曲と同様に、SD-Jukeboxを使って、パソコンのハードディスクに移動したり、移動した曲をSDメモリーカードに書き込んだりできます。パソコン上で曲順を編集したり、曲を再生したりすることもできます。

### ダウンロードした音楽コンテンツをSDメモリーカードから取り込む

（2002年10月現在）

- E-TOWER、G-BOOKについての詳しい情報は、http://g-book.com をご覧ください。
- 「G-BOOK」とはトヨタ自動車（株）が提供する新情報ネットワークサービスです。

# SDメモリーカードの接続

SDメモリーカードに曲をチェックアウトするためには、SDメモリーカードをパソコンに接続する必要があります。SH-SSK10に付属のUSBリーダーライター、またはお手持ちのSDメモリーカード用リーダーライター（セキュア対応のもの）などを使用して接続してください。

- SH-SSK10に付属のUSBリーダーライターをご使用になるには、専用のUSBドライバーをインストールする必要があります。SH-SSK10に付属のCD-ROMでSD-Jukeboxをインストールすると、自動的にインストールされます。
- お手持ちの機器を使用して接続する場合は、その機器の取扱説明書をご覧ください。
- SDマルチカメラをご使用の場合は、パソコンに接続したSDマルチカメラにSDメモリーカードを挿入して使用できます。

**お知らせ**

PCカードスロットに接続するSDメモリーカード用PCカードアダプター（別売り）を使用して接続することもできます。（品番：BN-SDAAP3）

**以下は付属USBリーダーライターを使用する場合の説明です。**

## ❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する

## ❷ USBリーダーライターのコネクターをパソコンのUSBポートに挿入する

パソコンのUSBポートへ

USBリーダーライターを初めてパソコンに接続したときは、OSによっては「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。自動的にUSBリーダーライターが使える状態になります。

Windowsのエクスプローラなどで、リムーバブルディスクとしてドライブが表示されていることを確認します。（表示されない場合☞ 57ページ）

## ❸ SDメモリーカードの挿入方向を確認して、USBリーダーライターの挿入口に入れる

**お 願 い**

- SDメモリーカードを逆向きに入れると、USBリーダーライターの挿入口やカードが破損する場合があります。
- SDメモリーカードを抜く時は、USBリーダーライターのACCESSランプが消えていることを確認して、SDメモリーカードを抜いてください。
- ノートパソコンの場合は必ずACアダプターをお使いください。
（操作の途中で電源が切れると、データが消えたりソフトウェアが正しく動作しなくなったりすることがあります）

## USBリーダーライターについて

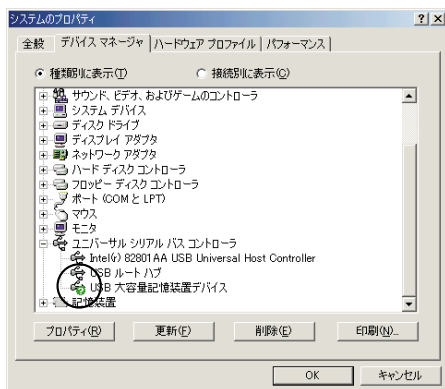
- ぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 高温になるところや直射日光の当たるところに置かないでください。
- 分解したり改造したりしないでください。
- 挿入口に異物が入らないようにしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

**お知らせ**

以下の場合の動作は保証しません。
- 1台のパソコンに2つ以上のUSBリーダーライターまたは他のUSB機器を接続している場合
- USBリーダーライターと他のSDメモリーカード専用アダプターを接続している場合
- USBハブおよびUSB延長ケーブルをお使いの場合

## USBリーダーライターをWindows Meでお使いの場合

デバイスマネージャの［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］ー［USB 大容量記憶装置デバイス］のアイコンに緑色の「？」マークが表示されることがありますが、動作上は問題ありません。そのまま使用してください。

# SDメモリーカードの接続

## SDメモリーカードのデータを保護するために

SDメモリーカードの内部が破損したり、データが壊れたりして使えなくなる恐れがありますので、SD-Jukeboxが完全に起動するまでのあいだとUSBリーダーライターのACCESSランプ点灯中は以下のことをしないでください。

- SDメモリーカードおよびUSBリーダーライターの取り付け／取り外し
- SD-JukeboxやWindowsの強制終了
- パソコンの強制オフ（コンセントから電源コードを抜くなど）

チェックアウト後はSDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくことをおすすめします。新たにチェックアウトやチェックインするときは解除してください。

## SDメモリーカードを取り外す

1. **ACCESSランプが消えていることを確認する**

2. **[マイコンピュータ]をダブルクリックし、SDメモリーカードを示す[リムーバブルディスク]のアイコンを右クリックする**

3. **「取り出し」をクリックする**

4. **ACCESSランプが消えていることを確認して、SDメモリーカードを取り出す**

# 起動する

## ● デスクトップの  アイコンをダブルクリックする



〈タイトル画面〉(画面例)

〈タイトル画面〉が表示された後、〈ライブラリ画面〉が表示されます。

**お知らせ**

アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューで「すべてのプログラム」→「CNC」→「SD-JukeboxV3」→「SD-JukeboxV3」の順にクリックする。

**お 願 い**

SD-Jukeboxを起動しているときは、パソコンなど使用する機器の省電力機能をオフにしておくことをおすすめします。

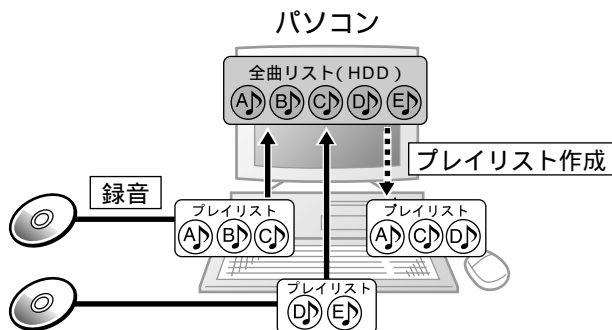
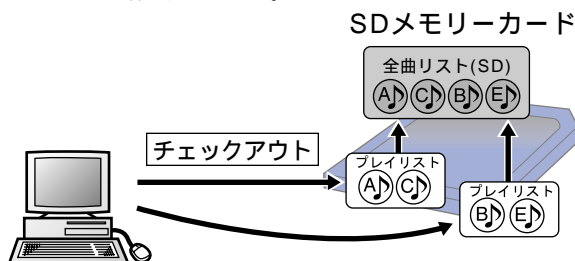
# 終了する

## ● 画面右上の［×］をクリックする

**Windows Me をお使いのお客様へ（☞ 63ページ）**

# プレイリストについて

プレイリストとは、アルバムのような、曲の集まりです。プレイリストを選んで再生すると、そのプレイリストに含まれる曲を聞くことができます。

曲をパソコンに録音すると、パソコン内に自動的にプレイリストが作成されます。また、録音してある曲の中から自分の好みの曲を集めて、新しくプレイリストを作ることもできます。

SDメモリーカードに曲をチェックアウトしたときも、SDメモリーカード内に自動的にプレイリストが作成されます。

## プレイリストを選ぶ

SD-Jukeboxで聞きたい曲やチェックアウトしたい曲を選ぶときは、右の画面でプレイリストを選びます。

- [▶]をクリックすると、下の階層にあるプレイリストが表示されます。([▼]をクリックすると元に戻ります。)
- プレイリスト名をクリックすると、リストに含まれる曲が表示されます。

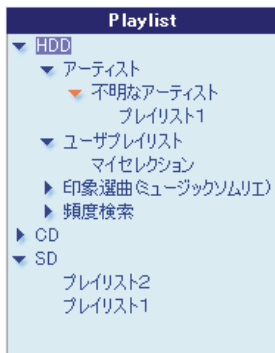
Playlist
HDD
アーティスト
不明なアーティスト
プレイリスト1
ユーザプレイリスト
マイセレクション
印象選曲(ミュージックソムリエ)
頻度検索
CD
SD
プレイリスト2
プレイリスト1

**[HDD]** ― パソコンに曲を録音すると、録音した曲が［HDD］リストに加わります。「HDD」をクリックするとパソコンに録音されているすべての曲が表示されます。

また、「アーティスト」の下にプレイリストが自動的に作成されます。

- アーティスト：アーティストごとに曲を集めたプレイリストです。
- ユーザプレイリスト：録音した後に曲を集めて作ったプレイリストです。
- 印象選曲：ミュージックソムリエ機能で作成したプレイリストです。
- 頻度検索：最近1か月／1週間に再生した回数が多い曲を集めて、自動的に作られるプレイリストです。

**[SD]** ―― 「SD」をクリックするとSDメモリーカードに録音されているすべての曲が表示されます。　[▶]をクリックするとSDメモリーカード内のプレイリストが表示されます。

**[CD]** ―― CD内の曲が表示されます。

**お知らせ**

「HDD」から曲を削除すると、音楽データそのものが削除されます。

# CDをパソコンに録音する

## ❶ CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

CDをCD-ROMドライブに入れ、自動的に再生が始まった場合（CD-EXTRAや自動再生機能を持ったアプリケーションなど）は、終了してください。終了しないと、SD-Jukeboxは使用できません。

## ❷ ［CD録音］をクリックする

〈CD録音画面〉が表示されます。

## ❸ 録音する曲の□（チェックボックス）をクリックする

- 選択された曲には☑が付きます。（もう一度クリックするとチェックが消えます。）
- すべての曲を録音するときは「全選択」をクリックします。
- 英会話、落語、効果音など、音楽以外のものを録音するときは「ミュージックソムリエに登録しない」にチェックを入れてください。

次ページへ続く ▶

## ❹「アルバムタイトル」「アーティスト」を入力する

- CDDBに楽曲情報が登録されている場合は、アルバムタイトルやアーティスト名、曲名情報が自動的に取得できます。（☞ 61ページ）
  （CDDB機能をご利用になるにはインターネットへの接続環境の設定、および各サービスプロバイダーとの契約が別途必要です。）
- 情報が取得できない場合は、作成順、曲順のタイトルがつきます。（「アーティスト」は自動的には入力されません。）
  「アルバムタイトル」をお好みの名前に変更しておくことをおすすめします。

  曲名は録音後に変更することができます。

## ❺ 必要に応じて、録音方法と音質を変更する （☞ 16ページ）

お買い上げ時はAAC 96 kbpsに設定されています。

## ❻「録音開始」をクリックする

- 録音が始まります。
- 録音を途中でやめるには［中止］をクリックします。（曲の途中で中止した場合、次の曲から録音が中止されます。）
- すべての曲の録音が終わると〈録音完了画面〉が表示されますので、［OK］をクリックしてください。

**お願い**

録音中にはCDの取り出しや、SDメモリーカードの抜き差しをしないでください。

**お知らせ**

- CD-RおよびCD-RWからの録音は保証しません。
- CD TEXTに対応したCDを録音する場合は、CDに記録されているアルバムタイトル、アーティスト名や曲名情報が自動的に引用されます。ただし、お使いのパソコンのCD-ROMドライブがCD TEXTに対応している必要があります。
- CD-ROMドライブの変更が必要な場合は、手順❷の後にCDを入れたドライブを選択してください。

次ページへ続く ▶

# CDをパソコンに録音する

## 録音方法と音質を選ぶ

[録音開始]をクリックする前に、データの録音（圧縮）方法と音質を選ぶことができます。

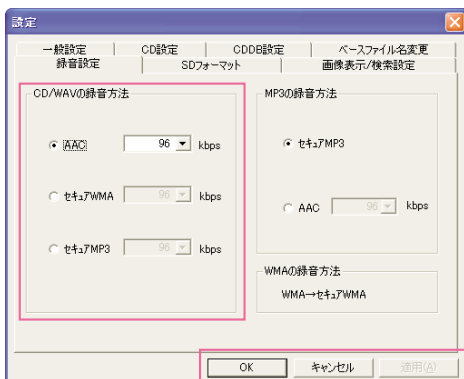
### ① をクリックして、〈設定画面〉を表示させる

### ② 「録音設定」タブをクリックする

### ③ 「CD／WAVの録音方法」でAAC／セキュアWMA／セキュアMP3のいずれかを選び、プルダウンメニューで音質を選ぶ

数字が大きいほど高音質ですが、メモリー容量がたくさん必要になります。

以下の表は、64 MBのSDメモリーカードに録音するときの、録音可能時間の目安です。

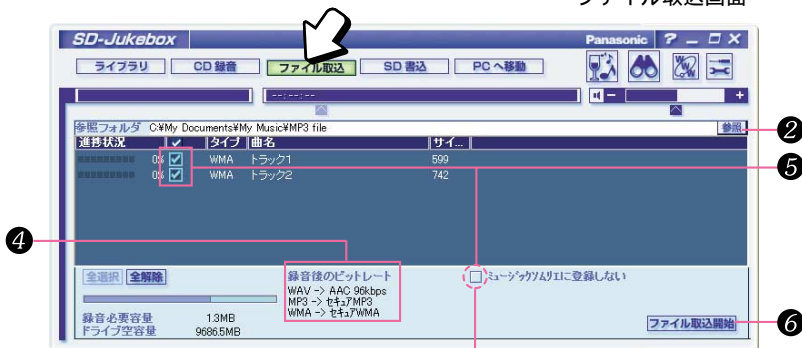
| | ビットレート | 時間 |
|---|---|---|
| 高音質 | 128 kbps | 約64分 |
| 標準の音質 | 96 kbps | 約86分 |
| 長時間録音 | 64 kbps | 約129分 |

### ④ [適用]→[OK]をクリックする

# 音楽データをSD-Jukeboxに取り込む

ハードディスクに保存されているMP3、WMA、WAVの音楽データファイルをSD-Jukeboxに取り込みます。

## ❶ [ファイル取込] をクリックする

〈ファイル取込画面〉が表示されます。

〈ファイル取込画面〉

## ❷ [参照]をクリックする

〈コンピュータの参照画面〉が表示されます。

## ❸ 取り込むファイルを保存しているフォルダーを選択し、[OK] をクリックする

〈ファイル取込画面〉にファイル名が表示されます。

〈コンピュータの参照画面〉

次ページへ続く

## 4 必要に応じて、ファイル取り込みの方法と音質を変更する
（☞ 19ページ）

- お買い上げ時はWAVファイルはAAC、MP3ファイルはセキュアMP3、WMAファイルはセキュアWMAに設定されています。

**お知らせ**

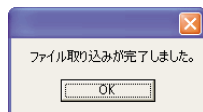
コンテンツ保護（著作権保護）されたWMAファイルはファイル取り込みできません。

## 5 取り込む曲の ■（チェックボックス）をクリックする

- 選択された曲には ☑ が付きます。（もう一度クリックするとチェックが消えます。）
- すべての曲を取り込むときは「全選択」をクリックします。
- 英会話、落語、効果音など、音楽以外のものを取り込むときは「ミュージックソムリエに登録しない」にチェックを入れてください。

## 6 ［ファイル取込開始］をクリックする

- 取り込みが始まります。
- 取り込みを途中でやめるには［中止］をクリックします。（曲の途中で中止した場合、次の曲から取り込みが中止されます。）
- すべての曲の取り込みが終わると〈ファイル取り込み完了画面〉が表示されますので、［OK］をクリックしてください。

- 取り込み後、プレイリストをお好みの名前に変更しておくことをおすすめします。

次ページへ続く

# 音楽データをSD-Jukeboxに取り込む

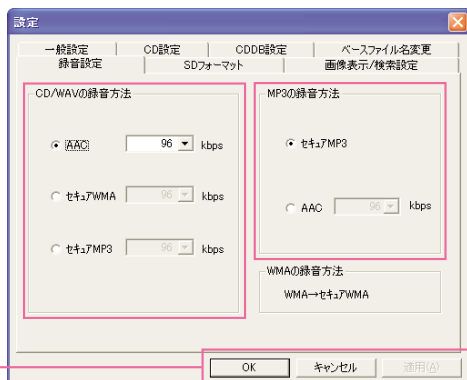
## ファイル取り込みの方法と音質を選ぶ

[ファイル取込開始]をクリックする前に、ファイル取り込みの方法（圧縮方法）と音質を選ぶことができます。

- WAVファイルは「AAC」「セキュアWMA」「セキュアMP3」から選択できます。
- MP3ファイルは「セキュアMP3」「AAC」から選択できます。
（通常は「セキュアMP3」を選択します。お使いのSDオーディオプレーヤーやSDマルチカメラにより、必要に応じて「AAC」を選択してください。）
- WMAファイルは、圧縮方法、ビットレートの変更を行えません。（☞ 52ページ）

### ① をクリックして、〈設定画面〉を表示させる

### ② 「録音設定」タブをクリックする

### ③ 取り込み元のデータ形式の欄で、録音方法を選び、プルダウンメニューで音質を選ぶ

### ④ [適用]→[OK]をクリックする

# Picwalk P711mやキオスク端末を使って曲を手に入れる

Picwalk P711mやキオスク端末を使って曲（音楽コンテンツ）をダウンロードしたSDメモリーカードから、その曲をパソコンに移動（Move）させることができます。移動（Move）した曲はパソコン側の［HDD］リストに追加されます。

**お知らせ**

- 移動（Move）するためには、＜一般設定画面＞の「Move/Migrateに対応」にチェックを入れておく必要があります。
- SDメモリーカードからパソコンに移動（Move）した曲は、SDメモリーカード上には残りません。
- パソコンに移動（Move）した曲は、曲名などの編集、画像の添付ができません。

## ❶ 曲をダウンロードしたSDメモリーカードを、パソコンに接続する

## ❷ [PCへ移動]をクリックする

移動可能な回数（MOVE回数）が表示されます。

## ❸ 移動する曲の （チェックボックス）をクリックする

- 選択された曲には がつきます。（もう一度クリックするとチェックが消えます。）
- すべての曲を移動するには、「全選択」をクリックします。

## ❹ [PCへ移動開始]をクリックする

- 選択していた曲がパソコンに移動（Move）されます。
- すべての曲の移動が終わると、＜処理完了画面＞が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

# SDオーディオレコーダーで録音した曲を手に入れる

SDオーディオレコーダー（品番：SV-SR100）を使って音楽CDからSDメモリーカードに録音した曲を、パソコンに移動（Migrate）させることができます。移動（Migrate）した曲はパソコン側の［HDD］リストに追加されます。

**お知らせ**

- 移動（Migrate）するためには、＜一般設定画面＞の「Move/Migrateに対応」にチェックを入れておく必要があります。
- SDメモリーカードからパソコンに移動（Migrate）した曲は、SDメモリーカード上には残りません。

## ❶ 音楽CDを録音したSDメモリーカードを、パソコンに接続する

## ❷ [PCへ移動]をクリックする

## ❸ 移動する曲の ■（チェックボックス）をクリックする

- 選択された曲には☑がつきます。（もう一度クリックするとチェックが消えます。）
- すべての曲を移動するには、「全選択」をクリックします。

## ❹ [PCへ移動開始]をクリックする

- 選択していた曲がパソコンに移動（Migrate）されます。
- すべての曲の移動が終わると、＜処理完了画面＞が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

# プレイリストを作る

好みの曲を集めて、新しくプレイリストを作ることができます。

## ❶ <ライブラリ画面>で「ユーザプレイリスト」を右クリックする

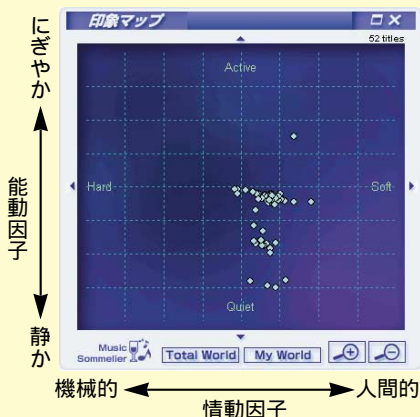
## ❷ 「新しいプレイリスト...」をクリックする

- 新しいプレイリストが作成されます。
- 作成されたプレイリストをお好みの名前に変更しておくことをおすすめします。（☞32ページ）

## ❸ リストから曲を選んで、新しく作成したプレイリストにドラッグ＆ドロップする

## ミュージックソムリエ機能でプレイリストを作ることができます

SD-Jukeboxでパソコンに曲を録音すると、ミュージックソムリエ機能が曲の印象を自動的に判断します。
その印象をもとにして曲を集めて、プレイリストを作ることができます。
プレイリストに入れる曲を1曲ずつ選ぶのではなく、印象を選ぶと、印象にあてはまる曲が集められます。
また、選曲パターンだけを選んでランダムに曲を集めることもできます。

曲のテンポやビートなどの特徴をもとに、ミュージックソムリエが曲の印象を判断します。
その判断の結果を、 印象マップで表しています。印象マップは、にぎやか、静かなどの「能動因子」と機械的、人間的などの「情動因子」の2次元で構成されています。印象マップ上で、それぞれの曲は点で表示され、点の位置がその曲の印象を表します。

**お知らせ**

- SDメモリーカードから移動（Move、Migrate）した曲は、ミュージックソムリエ機能では選曲されません。
- 曲に対する印象には個人差があるため、ミュージックソムリエの選曲が必ずしも個人の好みに合っているとは限りません。
- 音楽以外のデータ（英会話など）も登録することができますが、印象マップの表示範囲外になるため、印象マップ上に表示されないことがあります。
- 録音時の状態や雑音によって、ミュージックソムリエの印象が変わることがあります。そのため、同じ曲を2度録音しても、印象マップ上で異なる位置に表示される場合があります。
- SD-JukeboxV2.xでパソコンに録音または取り込んだ曲は、ミュージックソムリエの対象外となります。ミュージックソムリエに登録する場合は、再度、録音または取り込みを行ってください。

## 印象を選んで曲を集める（ミュージックソムリエ）

「ポップ系」「癒し系」など気分に合わせた印象を選ぶと、パソコン上の曲の中から印象に合った曲が自動選曲されます。

### ❶ をクリックする

<ミュージックソムリエ画面>が表示されます。

〈ミュージックソムリエ画面〉

### ❷ 印象を選んでクリックする

あてはまる曲がある項目には♪が表示されています。

### ❸ [選曲]をクリックする

- あてはまる曲がリストに表示されます。
  また、印象マップ上に選曲の範囲が表示されます。
- プレイリストに加えない曲は、チェックボックスをクリックしてチェックをはずしてください。

### ❹ プレイリスト名を入力する

### ❺ [プレイリスト登録]をクリックする

確認画面が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

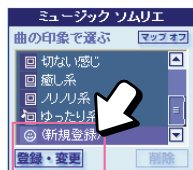
**お知らせ**

印象を選んで[登録・変更]をクリックすると選曲の範囲を変更できます。

## 似た印象の曲を集める（ミュージックソムリエ）

リストの中から1曲を選んで、その曲の印象に近い曲を集めることができます。

### ❶ <ミュージックソムリエ画面>で「(新規登録)」→［登録･変更］をクリックする

<登録画面>が表示されます。

### ❷ リストから代表曲（印象のもとになる曲）を選んでダブルクリックする

- 〈登録画面〉に代表曲が入力されます。
- 印象マップから1曲（1点）を選んでダブルクリックしても入力されます。

<登録画面>

### ❸ キーワードを入力する

- キーワードが、登録後の印象の名前になります。
- ［プレビュー］をクリックすると、印象マップ上で選曲の範囲を確認できます。

### ❹ ［登録］をクリックする

❸で入力したキーワード（名前）が「曲の印象で選ぶ」欄に登録されます。

### ❺ 24ページの方法で、プレイリストを作る

**お知らせ**

- <ライブラリ画面>で曲を右クリック→「類似曲を選曲」をクリックすると、似た曲を集めたプレイリストを作ることができます。(「印象選曲」の下にプレイリストが作られます。)
- 新規登録は20パターンまで登録できます。

## おまかせで選曲する（ミュージックソムリエ）

「ゆったりした曲から元気のいい曲へ」「元気のいい曲→ゆったりした曲→元気のいい曲」のように、 プレイリスト全体の曲の流れ（選曲パターン）を選ぶと、指定した曲数が、流れに合った曲順で選曲されます。
選曲はランダムに行われるので、同じパターンでも毎回違った曲が選ばれます。

### ❶ ＜ミュージックソムリエ画面＞で選曲パターンを選ぶ

（例）

- ↗：ゆったりした曲から元気のいい曲へ
- ⋀：ゆったりした曲 → 元気のいい曲 → ゆったりした曲
- →：元気のいい曲のみ

• ▸ をクリックすると、見えていないパターンが表示されます。

曲数を指定できます。
（4曲以上、99曲まで）

### ❷ [選曲]をクリックする

• 選曲パターンに合わせた選曲結果がリストに表示されます。
• プレイリストに加えない曲は、チェックボックスをクリックしてチェックをはずしてください。

### ❸ プレイリスト名を入力する

### ❹ [プレイリスト登録]をクリックする

確認画面が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

**お知らせ**

おまかせ選曲で選曲されてほしくない曲は、以下の操作で選曲の対象からはずしておくことができます。

① ＜ミュージックソムリエ画面＞で「（新規登録）」を選び、[登録・変更]をクリックする
② リストで、曲名を右クリックする
③ 「おまかせ選曲の対象とする」をクリックして、チェックをはずす

## 曲名やアーティスト名で検索する

条件を設定して、お好みの曲を集めたプレイリストを作ることができます。

### をクリックする

＜検索画面＞が表示されます。

〈検索画面〉

### ❷ 条件を入力する

- 曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、曲の長さのうち、検索に必要な項目を入力します。
- 「OR」を選ぶと条件のいずれかに当てはまるものが検索されます。
  「AND」を選ぶと条件のすべてに当てはまるものが検索されます。

### ❸ [検索]をクリックする

- 条件に当てはまる曲がリストに表示されます。
- プレイリストに加えない曲は、チェックボックスをクリックしてチェックをはずしてください。
- 検索結果を消すときは[クリア]をクリックしてください。

### ❹ プレイリスト名を入力する

### ❺ [プレイリスト作成]をクリックする

確認画面が表示されますので、[OK]をクリックしてください。
ライブラリ画面の「ユーザプレイリスト」の下に、作成したプレイリストが追加されます。

# SDメモリーカードにチェックアウトする

パソコン上にある曲の中から好みの曲を選んで、SDメモリーカードにチェックアウトします。
チェックアウトする曲に画像が添付されている場合は、画像も同時にSDメモリーカードに書き込まれます。

## ❶ SDメモリーカードを接続する（☞8ページ）

## ❷ [SD書込] をクリックする

〈SD書込画面〉が表示されます。

〈SD書込画面〉

## ❸ チェックアウトする曲が入っているプレイリストを選ぶ

## ❹ チェックアウトする曲の ■ (チェックボックス) をクリックする

• 選択された曲には ☑ が付きます。(もう一度クリックするとチェックが消えます。)
• すべての曲をチェックアウトするときは「全選択」をクリックします。

次ページへ続く ▶

# SDメモリーカードにチェックアウトする

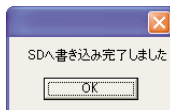
## ❺「作成プレイリスト名」を入力する

お好みの名前に変更しておくことをおすすめします。

## ❻［SD書込開始］をクリックする

- チェックアウトが始まります。

- すべての曲のチェックアウトが終わると〈SDへ書き込み完了画面〉が表示されますので、[OK]をクリックしてください。
- チェックアウトを途中でやめるには［中止］をクリックします。
（曲の途中で中止した場合､次の曲から書き込みが中止されます｡）

**お 願 い**

＜SDへ書き込み完了画面＞が表示された後、[OK]をクリックしてSDメモリーカードを取り外してください。

**お知らせ**

- お使いの機器に付属の取扱説明書で、再生できるデータ形式を確認してください。
- SDメモリーカードに書き込めるプレイリスト数と曲数には制限があります。
  —プレイリスト数／最大99
  —1プレイリストあたりの曲数／最大99
  —SDメモリーカード1枚あたりの曲数／最大999
- SD書込画面では、チェックアウト回数が1回以上残っている曲だけが表示されます。

# SDメモリーカードからパソコンにチェックインする

SDメモリーカードから曲をチェックインすると、その曲がパソコンに戻り、パソコン側の残りチェックアウト回数が増えます。
チェックアウトに使用したパソコンを使ってください。

## ❶ [PCへ移動]をクリックする

＜PCへ移動画面＞が表示されます。

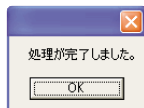
〈PCへ移動画面〉

## ❷ [SD]をクリックする

## ❸ チェックインする曲の□（チェックボックス）をクリックする

• 選択された曲には☑が付きます。(もう一度クリックするとチェックが消えます。)
• すべての曲をチェックインするときは「全選択」をクリックします。

## ❹ [PCへ移動開始]をクリックする

• 選択していた曲がパソコンにチェックインされます。
• すべての曲のチェックインが終わると＜処理完了画面＞が表示されますので、[OK] をクリックしてください。

**お 願 い**

＜処理完了画面＞が表示されるまでは、SDメモリーカードを取り外さないでください。

**お知らせ**

• 複数のプレイリストで使用されている曲をチェックインすると、SDメモリーカードのすべてのプレイリストからその曲が削除されます。
• パソコンの［HDD］リストから曲が削除されている場合は、チェックインできず音楽データそのものが削除されてしまいます。
• SDメモリーカード内のプレイリストから削除した場合は、選曲から削除されるだけでチェックインしたことになりません。

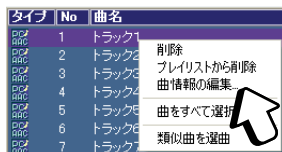
# 編集する

＜ライブラリ画面＞で編集します。

## 曲名、アーティスト名、アルバム名を変更する

### ① 変更する曲を右クリックする

### ② 「曲情報の編集...」をクリックする

〈トラック詳細情報画面〉が表示されます。

### ③ 名前を入力して[OK]をクリックする

〈トラック詳細情報画面〉

**お知らせ**

- 「ユーザプレイリスト」の下にあるもののみ編集できます。
- SDメモリーカード上の曲名を変更することはできません。変更するには、変更したい曲をチェックインしたうえで、パソコン側で曲名を変更してから再度チェックアウトしてください。（パソコンの［HDD］リストから曲を削除している場合は変更できません。）
- 入力できる文字数は、全角半角に関係なく30文字です。ただし、「ｷｮｸﾒｲ」「ｱｰﾃｨｽﾄﾒｲ」欄には半角60文字まで入力できます。

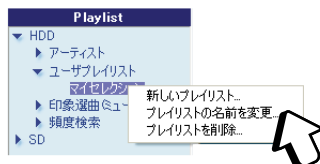
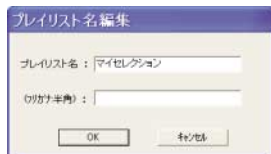
次ページへ続く ▶

# 編集する

<ライブラリ画面>で編集します。

## プレイリスト名を変更する

### ① 変更するプレイリスト名を右クリックする

### ②「プレイリストの名前を変更...」をクリックする

### ③ プレイリスト名を変更して［OK］をクリックする

## 曲を削除する

### ① 削除する曲を右クリックする

### ②「削除」または「プレイリストから削除」をクリックする

- 「削除」を選ぶと、音楽データそのものが削除されます。
- 「プレイリストから削除」を選ぶと、そのプレイリストから曲がはずれます。音楽データそのものが削除されるわけではありません。
- [HDD]リストから曲を削除すると、音楽データそのものが削除されます。
- クリック後、確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。

## プレイリストを削除する

### ① 削除するプレイリストを右クリックする

### ②「プレイリストを削除...」をクリックする

- 確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。

## 曲順を移動する

### ① 編集するプレイリストを選ぶ

### ② 曲をドラッグ＆ドロップして曲順を移動する

# パソコンで聞く

CDの曲や、パソコンに保存されている曲、SDメモリーカード内の曲をこのソフトウェアを使って聞くことができます。

## ❶ [ライブラリ]をクリックする

<ライブラリ画面>が表示されます。

〈ライブラリ画面〉

## ❷ 再生したいプレイリストを選ぶ

## ❸ ▶ をクリックする

- 1曲目から再生が始まります。プレイリスト（またはCD）内のすべての曲の再生が終了すると、自動的に停止します。
- 再生したい曲をダブルクリックすると、その曲から再生が始まります。

**お知らせ**

- SDメモリーカード上のWMAデータを、パソコンで再生することはできません。
- ミュージックソムリエの対象曲は、タイプ欄に音符付きマーク が表示されます。
- SDメモリーカードから移動（Move、Migrate）した曲は、ミュージックソムリエの対象外となります。
- SD-JukeboxV2.xでパソコンに録音または取り込んだ曲は、ミュージックソムリエの対象外となります。ミュージックソムリエに登録する場合は、再度、録音または取り込みを行ってください。

**お 願 い**

CDやSDメモリーカードの再生中は、CDやSDメモリーカードを取り出したり、CD-ROMドライブのトレイを開けたりしないでください。

次ページへ続く ▶

# パソコンで聞く

| 機能 | クリックするボタン |
|---|---|
| 一時停止する | 再生中に ⏸ （再生開始は ▶） |
| 停止する | 再生中に ■ |
| 曲の頭出し | ⏮ ：前曲頭出し　⏭ ：次曲頭出し |
| 早送りする | スライダーを右にドラッグ |
| 早戻しする | スライダーを左にドラッグ |
| 音量を調節する | − ：小さく　＋ ：大きく（音量スライダーでも調節できます） |
| 一時的に消音する | （消音時は になります。）<br>もう一度クリックすると解除されます。 |
| リピートモードを設定する | （クリックするたびに以下のように切り替わります。）<br>（リピートなし）<br>↓<br>（1曲リピート）<br>↓<br>（全曲リピート） |
| 再生モードを設定する | （クリックするたびに以下のように切り替わります。）<br>（通常再生）<br>↓<br>（ザッピング再生）曲の特徴部分を数秒間ずつ再生します。<br>↓<br>（ランダム再生） |

**お知らせ**

- 再生中にリピートモード、再生モードを切り替えると再生が停止する場合があります。その場合は ▶ をクリックしてください。
- ザッピング再生は、曲の特徴部分を自動的に選んで再生するものです。
- CD内またはSDメモリーカード内にある曲は、ザッピング再生できません。
- SD-JukeboxV2.xでパソコンに録音または取り込んだ曲や、SDメモリーカードから移動（Move、Migrate）した曲をザッピング再生すると 、最初の数秒間が再生されます。

# 画像について

再生中に、曲に添付されている画像が表示されます。パソコン上に保存しているお好みの静止画像データを添付することができます。（☞ 36ページ）

- 複数の画像がある場合は、一定の時間間隔でスライドショーのように画像が切り替わります。（＜画像表示／検索設定画面＞で間隔を変更できます。）
- 画像をダブルクリックすると、別ウィンドウで表示されます。
  ◀◀ ▶▶ で画像を切り替えることができます。

**お知らせ**

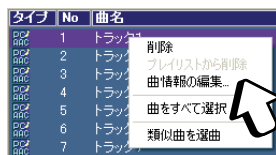
SDにチェックアウトするときは、曲に添付されている画像も同時にチェックアウトされます。画像を再生できるプレーヤー（SDマルチカメラなど）で曲を再生すると、画像が表示されます。

## 画像を添付する

1曲につき20枚まで添付できます。

### ❶ ＜ライブラリ画面＞で、［HDD］をクリックする

### ❷ 画像を添付する曲を右クリック→「曲情報の編集...」をクリックする

＜トラック詳細情報画面＞が表示されます。

### ❸ 「イメージ」の欄に、添付する画像をドラッグ＆ドロップする

〈トラック詳細情報画面〉

- 添付されている画像の順番をドラッグ＆ドロップで変更できます。
- 画像の削除は、画像を右クリック→「削除」をクリックで行うことができます。

### ❹ [OK]をクリックする

**お知らせ**

bmp、jpg、png、tif（非圧縮）、pct、pcxの画像ファイルを添付できます。

# 音を変える（イコライザー）

ジャンルに合わせて簡単に音を変えることができます。また、自分の好みに合わせて細かく調整することもできます。

## 曲に合わせて自動選択する

再生中の曲に最適なプリセットイコライザーが自動選択されます。

### ① [イコライザー設定]をクリックする

<イコライザー画面>が表示されます。

### ② [ON]をクリックして、ボタンを押した状態にする

イコライザー機能が「入」になります。

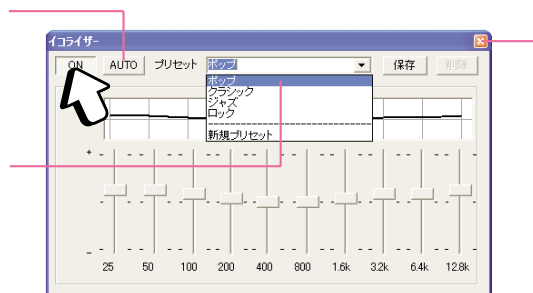
〈イコライザー画面〉

### ③ [AUTO]をクリックする

### ④ ☒ をクリックする

次ページへ続く ▶

# 音を変える（イコライザー）

## 好みに合わせてプリセットイコライザーを選択する

① [イコライザー設定]をクリックする

② [ON]をクリックして、ボタンを押した状態にする

③ [AUTO]が「切」（ボタンを押していない状態）になっていることを確認する

「入」になっている場合は、[AUTO]をクリックして「切」にしてください。

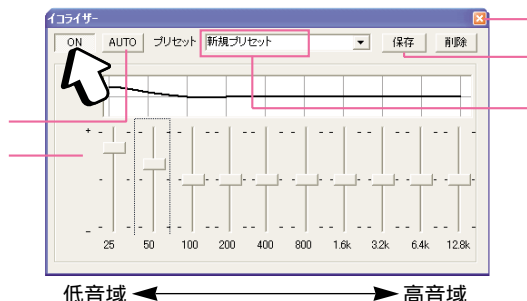
④ 「プリセット」のプルダウンメニューで、好みのプリセットイコライザーをクリックする

⑤ ☒ をクリックする

次ページへ続く ▶

# 音を変える（イコライザー）

## さらに細かく調整する

好みの音を登録しておくと、「プリセット」のプルダウンメニューで選ぶことができます。

### ① [イコライザー設定]をクリックする

### ② [ON]をクリックして、ボタンを押した状態にする

### ③ [AUTO]が「切」（ボタンを押していない状態）になっていることを確認する

「入」になっている場合は、[AUTO]をクリックして「切」にしてください。

### ④ 「プリセット」のプルダウンメニューで「新規プリセット」をクリックする

### ⑤ 登録する名前を入力する

### ⑥ スライダーで各音域のレベルを調整する

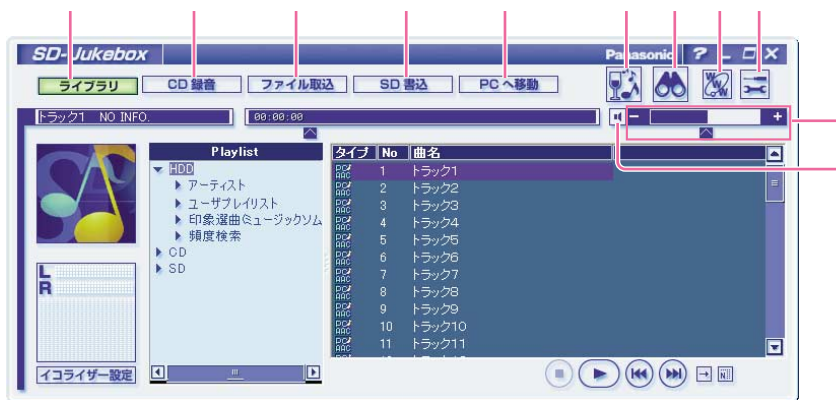
### ⑦ [保存]をクリックする

### ⑧ ☒ をクリックする

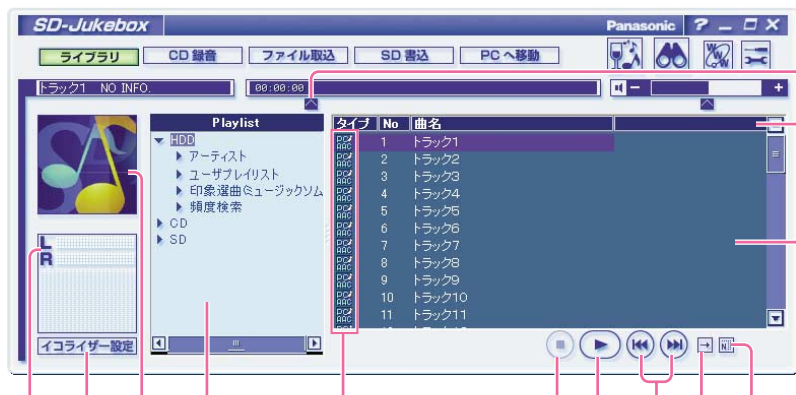
**お知らせ**

- 10パターンまで登録できます。
- 登録した新規プリセットを削除するには、削除するプリセットを選んで [削除]をクリックしてください。
- 登録したプリセットを選んで各音域のレベルを再調整し、[保存]をクリックすると、修正できます。
  また、プリセット名を修正して[保存]をクリックすると、新しいプリセットとして登録できます。

# 画面各部のなまえとはたらき

常に表示されているボタンです。

① <ライブラリ画面>を表示します。
② <CD録音画面>を表示します。
③ <ファイル取込画面>を表示します。
④ <SD書込画面>を表示します。
⑤ <PCへ移動画面>を表示します。
⑥ <ミュージックソムリエ画面>を表示します。
⑦ <検索画面>を表示します。
⑧ インターネットに接続します。
⑨ <設定画面>を表示します。
録音方法、音質の設定やSDメモリーカードのフォーマットなどを行います。
⑩ 音量を調節します。
⑪ 消音にします。

# 画面各部のなまえとはたらき

## <ライブラリ画面>

① 早送り、早戻しをします。
② 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べかえます。
　右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
③ 曲名などを表示します。
　曲をダブルクリックすると再生が始まります。
④ 再生中に入力音声レベルを表示します。
⑤ イコライザー画面を表示します。
⑥ 再生中の曲に画像が添付されているときに表示します。
　ダブルクリックすると、別ウィンドウで画像を表示します。
⑦ プレイリストを選びます。
　プレイリスト名をクリックすると、③にプレイリスト内の曲が表示されます。
⑧ データ形式が表示されます。
⑨ 再生を止めます。
⑩ 再生を始めます。
　再生中は になります。クリックすると再生を一時停止します。
⑪ 前曲、次曲の頭出しをします。
⑫ リピートモードを切り替えます。
　→ （リピートなし）→ （1曲リピート）→ （全曲リピート）
⑬ 再生モードを切り替えます。
　→ （通常再生）→ （ザッピング再生）→ （ランダム再生）

# 画面各部のなまえとはたらき

## <CD録音画面>

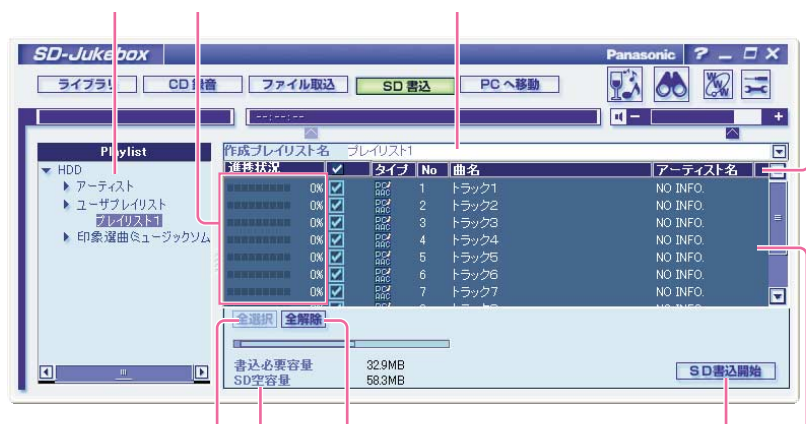
① 録音中に現在の録音状況を表示します。
② アルバムタイトル、アーティスト名を入力します。
③ 右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
④ 曲をすべて選択します。
⑤ 現在選択している曲を録音するために必要な容量と、パソコンのドライブの空き容量を表示します。
⑥ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑦ お客様が入力されたり修正されたりしたCD曲情報を、CDDBへ送信してサーバーに登録することができます。
⑧ パソコンに録音した後、自動的にSDメモリーカードへチェックアウトします。
⑨ 録音した曲を、ミュージックソムリエ機能で選曲されないようにします。
⑩ 現在設定されている録音方法と音質を表示します。
変更する場合は<録音設定画面>で変更します。
⑪ 録音を始めます。
⑫ CD-ROMドライブを選択します。
⑬ CD上の曲をリスト表示します。

# 画面各部のなまえとはたらき

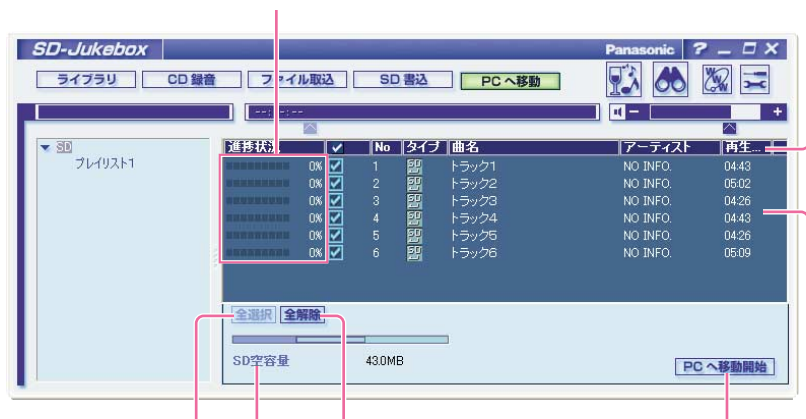
## <ファイル取込画面>

① 取り込み中に現在の取り込み状況を表示します。
② 取り込みたい音楽データ（ファイル）があるフォルダーを選択します。
③ 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べかえます。
　右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
④ ファイルをすべて選択します。
⑤ 現在選択している曲を取り込むために必要な容量と、パソコンのドライブの
　空き容量を表示します。
⑥ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑦ 現在設定されている録音方法と音質を表示します。
　変更する場合は<録音設定画面>で変更します。
⑧ 取り込んだ曲を、ミュージックソムリエ機能で選曲されないようにします。
⑨ 取り込みを始めます。
⑩ 取り込み可能なＭＰ3、ＷＡＶ、ＷＭＡファイルのみを表示します。
　そのファイル形式とサイズも表示します。

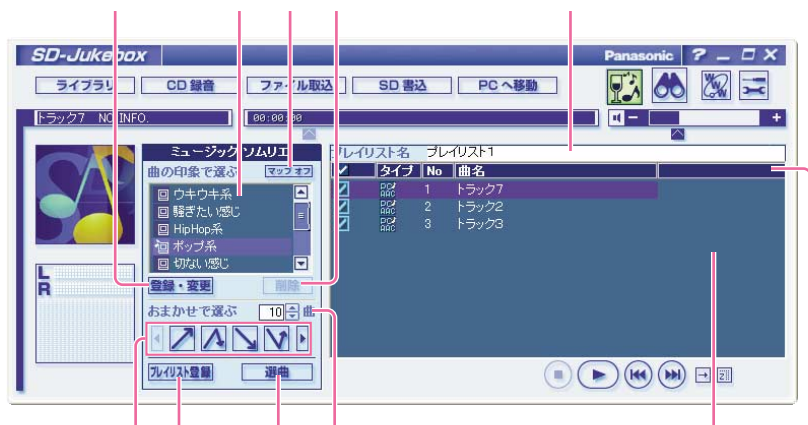
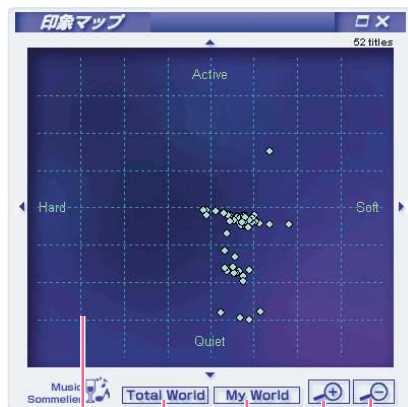
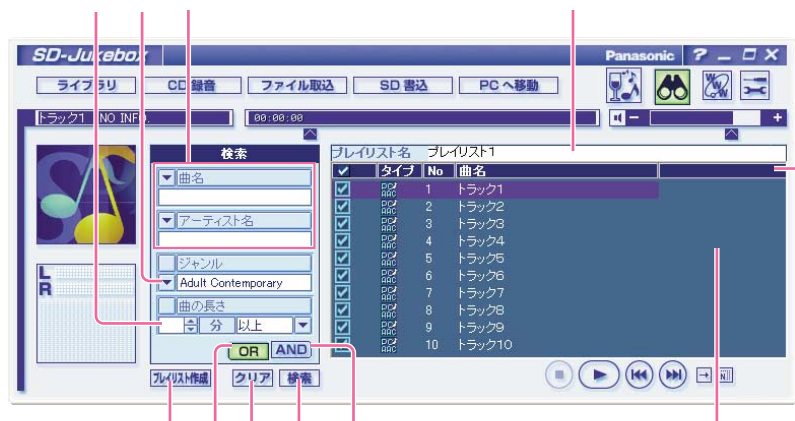
# 画面各部のなまえとはたらき

## ＜SD書込画面＞

① ＳＤメモリーカードにチェックアウトしたいパソコン上のプレイリストを選択します。
② チェックアウト中に現在の状況を表示します。
③ ＳＤメモリーカード上に新たに作成するプレイリスト名を入力します。
④ 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べかえます。
右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
⑤ 曲をすべて選択します。
⑥ 現在選択している曲をチェックアウトするために必要な容量と、ＳＤメモリーカードの空き容量を表示します。
⑦ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑧ チェックアウトを始めます。
⑨ パソコン上のプレイリストの曲と残りチェックアウト回数を表示します。

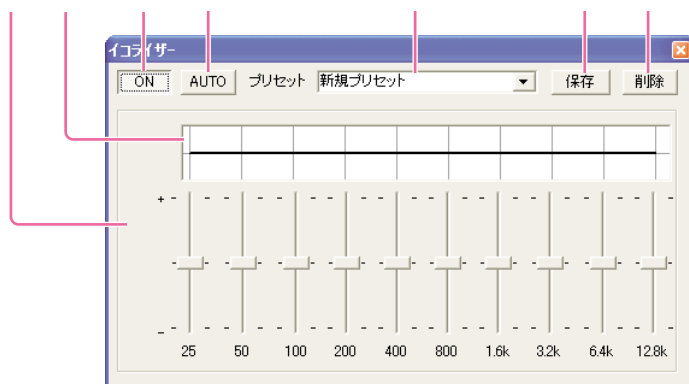
# 画面各部のなまえとはたらき

## ＜PCへ移動画面＞

① チェックイン中に現在の状況を表示します。
② 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べかえます。
　右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
③ 曲をすべて選択します。
④ 現在選択している曲をチェックインした場合にSDメモリーカードにできる空き容量を表示します。
⑤ 現在の選択状態をすべて解除します。
⑥ チェックインを始めます。
⑦ SDメモリーカード内の曲を表示します。

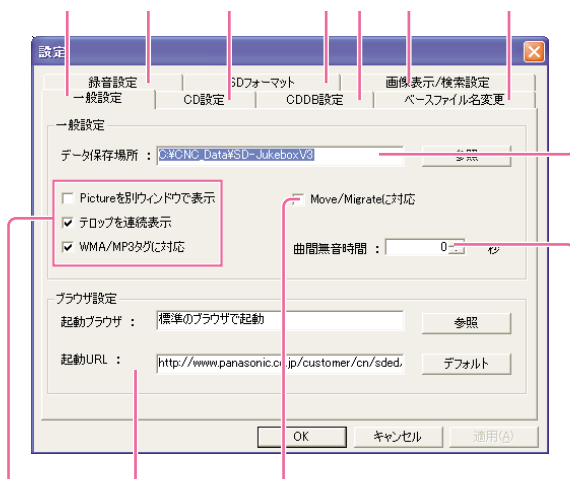
# 画面各部のなまえとはたらき

## <ミュージックソムリエ画面>

① 印象を新しく登録します。また、登録した印象を変更します。
② 印象を選びます。
③ 印象マップを消します。
④ 登録した印象を削除します。
⑤ プレイリスト名を入力します。
⑥ おまかせ選曲の選曲パターンを選びます。
⑦ プレイリストに登録します。
⑧ 選曲します。
⑨ おまかせ選曲で選曲する曲数を設定します。
⑩ 選曲結果がリスト表示されます。
⑪ 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べかえます。右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
⑫ それぞれの曲を印象マップ上の点で表します。
⑬ 印象マップ全体を表示します。
⑭ 曲がある部分を大きく表示します。
⑮ 狭い範囲を拡大して表示します。
⑯ 広い範囲を縮小して表示します。

### ＜検索画面＞

① 曲の長さを指定します。
② 「ジャンル」を指定します。
③ 「曲名」「アーティスト名」「アルバム名」を指定します。
④ プレイリスト名を入力します。
⑤ プレイリストを作成します。
⑥ 条件のいずれかに当てはまるものが検索されます。
⑦ 検索結果を消去します。
⑧ 検索します。
⑨ 条件のすべてに当てはまるものが検索されます。
⑩ 検索結果がリスト表示されます。
⑪ 項目欄をクリックしてリスト表示順を並べかえます。
　右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。

# 画面各部のなまえとはたらき

## <イコライザー画面>

① 各音域のレベルを調整します。
② 調整の結果が波線で表示されます。
③ イコライザーの入/切を切り替えます。
④ 自動選択を設定します。
⑤ イコライザーの種類を選びます。
⑥ 調整したイコライザーを保存します。
⑦ 登録したイコライザーを削除します。

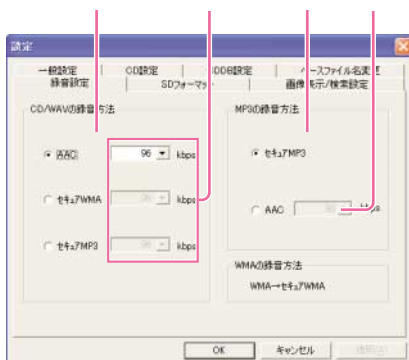
# 画面各部のなまえとはたらき

## <設定画面>

① ＜一般設定画面＞を表示します。
② 録音方法、音質を設定する〈録音設定画面〉を表示します。
③ CDに関する機能を設定します。
④ SDメモリーカードをフォーマットします。
⑤ CDDBの機能を設定します。
⑥ 再生中の画像の切り替えと検索する曲数を設定する〈画像表示／検索設定画面〉を表示します。
⑦ デフォルトで設定されるベースファイル名を設定します。
（最大半角200文字（200バイト）まで）

## <一般設定画面>

⑧ 音楽データの保存場所を設定します。
⑨ 様々な機能を設定します。
⑩ ブラウザとURLを設定します。
⑪ Picwalk P711mやキオスク端末、SDオーディオレコーダー（品番：SV-SR100）で録音した曲をパソコンに移動できるようにします。
⑫ 曲間の無音時間を設定します。

# 画面各部のなまえとはたらき

## ＜録音設定画面＞

① CD録音、WAVファイルの取り込み時の録音方法を設定します。
② CD録音、WAVファイルの録音の音質を設定します。
③ MP3ファイルの取り込み時の録音方法を設定します。
④ MP3ファイルをAACに変換時の音質を設定します。

## ＜画像表示／検索設定画面＞

① 再生中の画像表示を設定します。
② 検索画面で選曲される曲数を設定します。
③ SD-Jukeboxの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

# SDメモリーカードのフォーマット

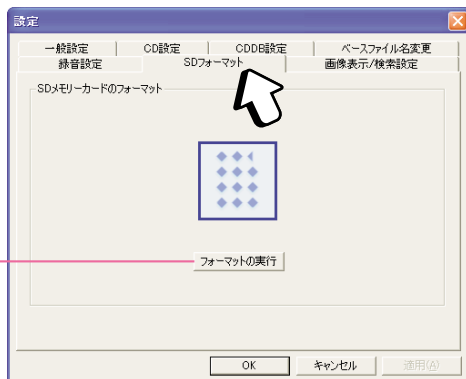
フォーマットすると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。

**お願い**

- フォーマットすると、SD-Jukeboxを使ってチェックアウトした曲以外でも消去されます。フォーマットする前に、必ずSDメモリーカードの内容を確認してください。
- 下記の方法以外でフォーマットしないでください。チェックアウトや再生ができなくなることがあります。
- フォーマット完了後そのまま新しく曲をチェックアウトする場合は、いったんSDメモリーカードを抜き、再度挿入してから始めてください。

## ❶ をクリックする

設定画面が表示されます。

## ❷「SDフォーマット」タブをクリックする

## ❸ [フォーマットの実行]をクリックする

## ❹ 確認画面が表示されたら、[はい]をクリックする

- フォーマットが始まります。
- フォーマットが終わると<フォーマット終了画面>が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

# 対応するデータ形式

- 音楽CD：CD-DA、CD-EXTRA、CD TEXT
- MP3　：MPEG-1 layer3、MPEG2 layer3 low sampling frequency
- WMA　：Windows Media Audio　32/44.1/48 kHz、64～160 kbps
- WAV　：PCM 44.1 kHz 16ビット（2チャンネル・ステレオ）

## 変換対応表

| 入力形式＼出力形式 | | AAC（2チャンネル・ステレオ） | | | | | セキュアMP3（2チャンネル・ステレオ） | セキュアWMA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 64 kbps | 96 kbps | | 128 kbps | | | |
| | | 32 kHz | 44.1 kHz | 48 kHz | 44.1 kHz | 48 kHz | | |
| **音楽CD** | **CD-DA** | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |
| | **CD-EXTRA** | ○ | ○ | × | ○ | × | (64/96/128/192/VBR) | (mono32/64/96/128/160) |
| **MP3（2チャンネル・ステレオ）** | **16/22.05/24 kHz 32 kbps～192 kbps** | × | × | × | × | × | ○ | × |
| | **32 kHz 32 kbps～192 kbps** | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| | **44.1 kHz 32 kbps～192 kbps** | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| | **48 kHz 32 kbps～192 kbps** | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| **WMA** | **32 / 44.1/ 48 kHz 64 kbps～160 kbps** | × | × | × | × | × | × | ○ |
| **WAV** | **44.1 kHz / 172 KB/秒** | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |

MP3→セキュアMP3変換、およびWMA→セキュアWMA変換ではサンプリング周波数、ビットレートの変換は行いません。

# 音楽データのバックアップ／リストア（復元）

お客様のパソコンに次のような状況が発生する前に音楽データのバックアップを行っておくと、その音楽データの復元が可能になります。

- パソコン本体を交換するとき
- CPUやハードディスクを交換するとき
- OSを再インストールするとき
- OS機能の「システム復元」などで音楽データベースが壊れたとき
- OSの異常終了などで音楽データベースが壊れたとき

SD-Jukeboxは著作権保護のため音楽データを暗号化して保存しています。この暗号化されたデータのバックアップ／リストア（復元）には専用の「SD-Jukeboxバックアップツール」が必要です。
また、バックアップ可能な音楽データは、

- 音楽CDから録音したファイル
- ファイル取り込みしたWMA、MP3、WAVファイル

のみです。

## ■ SD-Jukeboxバックアップツールの入手方法

以下のホームページにアクセスして入手してください。

http://panasonic.jp/support/audio/
http://panasonic.jp/support/cn/sded/

**お知らせ**

SD-JukeboxV2用のバックアップツールは使用できません。SD-JukeboxV3用のバックアップツールをご使用ください。

# アンインストールする

アプリケーション（SD-Jukebox）をパソコンから削除して使えなくすることを、アンインストールといいます。
USBリーダーライターまたはお持ちのSDメモリーカード用リーダーライターをはずしてからアンインストールをはじめてください。

**❶ Windowsの「スタート」メニューで「コントロールパネル」をクリックする**

**❷ 「プログラムの追加と削除」をクリックする**

〈プログラムの追加と削除画面〉が表示されます。

**❸ [SD-JukeboxV3]をクリックし、[変更と削除]をクリックする**

**❹ [OK] をクリックする**

SD-JukeboxV3が削除され、確認画面が表示されます。

**❺ [完了] をクリックする**

# 困ったときのQ＆A

おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。その他、お使いのパソコンによる原因も考えられますので、お使いのパソコンの取扱説明書も参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

## ■ インストールおよび起動時

| こんなときは | ここをお調べください |
|---|---|
| インストールできない | • 付属のCD-ROMを入れていますか？<br>• CD-ROMドライブの指定は正しいですか？<br>• 「ユーザーの情報」でCD-ROMパッケージに表示されている番号を正確に入力しましたか？ |
| 起動できない | • ハードディスクにインストールしましたか？付属のCD-ROMからは直接起動できません。<br>• パソコンのメモリー容量は64 MB（Windows 2000、XP：128 MB）以上ありますか？（☞ 4ページ） |
| USBリーダーライタードライバーだけをインストールしたい | 品番 BN-SDCEAD（SH-SSK10に付属）または、BN-SDCBAD（SH-SSK1に付属）をお持ちの場合は、付属CD-ROM内の「driver」フォルダーにあるReadme.txtをお読みのうえ、その手順に従ってインストールしてください。<br>品番 BN-SDCAAD（SV-SD70、SV-SD75に付属）をお持ちの場合は、下記のURLよりドライバーをダウンロードしてインストールしてください。<br>http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/ |

## ■ パソコンに録音時

| こんなときは | ここをお調べください |
|---|---|
| 録音できない | • CDは損傷していませんか？<br>• CD録音画面でCD-ROMドライブ（再生ドライブ）の選択が正しいか確認してください。<br>• CD-ROMドライブはデジタル対応していますか？<br>録音には、デジタル対応したCD-ROMドライブが必要になります。<br>• パソコンのハードディスクに十分な空き容量がありますか？（☞ 4ページ） |
| CDが認識されない<br>CD録音画面で曲が表示されない | パソコンにCDが正しく入っているか確認してください。 |

# 困ったときのQ＆A

## ■ 再生操作時

SDオーディオプレーヤーやSDマルチカメラでの再生については、機器に付属の取扱説明書を参照してください。

| こんなときは | ここをお調べください |
| --- | --- |
| 再生できない | • **CD**：CDが入っていますか？<br>CDが正しく入っている場合は、＜ライブラリ画面＞の［CD］をクリックしてください。<br>• **パソコン**：音楽データが入っていますか？<br>• CD-ROMドライブはデジタル対応していますか？<br>再生には、デジタル対応したCD-ROMドライブが必要になります。 |
| 1曲（または全曲）が繰り返し再生される | リピートモードが1曲リピート（または全曲リピート）になっていませんか？（☞ 34ページ） |
| 1曲目から再生できない | 再生モードがランダムになっていませんか？<br>（☞ 34ページ） |
| 曲の一部しか再生されない | 再生モードがザッピング再生になっていませんか？<br>（☞ 34ページ） |
| 聞きたいプレイリストから再生できない | ［ライブラリ］をクリックして〈ライブラリ画面〉を表示させると、プレイリストを選ぶことができます。（☞ 13ページ） |
| 音が出ないまたは大きくならない | • 音量スライダーまたは音量ボタンで音量を大きくしてください。<br>• パソコンの音量設定を確認してください。ソフトウェアで音量を大きくしても、パソコンの音量設定がゼロやミュートの場合、音は出ません。 |
| 音が悪い | 録音時に音質を下げて録音した可能性があります。「録音設定」で音質を変更して録音しなおしてください。（☞ 16ページ） |
| ブツブツ音が出る | ご使用のCD-ROMドライブの特性によって、録音した音楽データやCD再生時に「ブツブツ」という雑音が発生する場合があります。 |
| CD TEXTの情報が出ない | お使いのパソコンのCDドライブがCD TEXTに対応している必要があります。 |

## ■ SDメモリーカードについて

SDメモリーカードをSDオーディオプレーヤーやSDマルチカメラで再生できるか確認してください。再生できない場合は、SDメモリーカードが破損している場合があります。フォーマットすると使えるようになる可能性がありますが、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。

| こんなときは | ここをお調べください |
| --- | --- |
| 認識されない<br>＜ライブラリ画面＞で[SD]が表示されない | • SDメモリーカードをUSBリーダーライターに正しく入れているか確認してください。<br>• USBリーダーライターをパソコンに正しく接続しているか確認してください。<br>上の項目を実施してもSDメモリーカードが認識されない場合は、パソコンを再起動してみてください。 |
| 〈CD録音画面〉の「SDカードへ自動書込」が選べない | SDメモリーカードが認識されていない可能性があります。<br>SDメモリーカードをパソコンに正しく接続していることを確認してください。 |
| USBリーダーライターのドライブが表示されない | パソコンのIRQ（割り込みレベル）が競合している場合があります。<br>① Windows の「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする。<br>② 「パフォーマンスとメンテナンス」-「システム」をクリックする。<br>③ 「ハードウェア」のタブをクリックする。<br>④ 「デバイスマネージャ」をクリックし、不要なデバイスを無効にする。<br>⑤ USBリーダーライターを取り外し、パソコンを再起動する。<br>⑥ USBリーダーライターを接続する。 |
| チェックアウトできない | • 著作権保護のため、SDメモリーカードへのチェックアウトは3回までに制限されています。（☞ 6ページ）<br>• SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？（☞ 10ページ） |
| SDメモリーカードに空き容量があるのにチェックアウトできない | エクスプローラなどでデータを操作した可能性があります。<br>SDメモリーカードをSD-Jukeboxでフォーマット（☞ 51ページ）すればチェックアウトできる状態になります。ただし、フォーマットするとデータは全て消去されますので、必要なデータは必ずあらかじめチェックインしておいてください。 |
| SDメモリーカードのフォーマット後、不具合が生じる<br>• USBリーダーライターのACCESSランプが消えない<br>• エラーメッセージが表示される<br>など | SD-Jukebox以外でカードをフォーマットした可能性があります。SD-Jukeboxを一度終了した後、SDメモリーカードを示す[リムーバブルディスク]を右クリック→「取り出し」をクリックして、カードを抜き差ししてください。 |

# 著作権保護に関する制限

- このソフトウェアをご使用いただくうえでは、著作権保護のための制限があります。
  - ・SDメモリーカードに関する制限。（☞ 6ページ）
  - ・コピー制限情報が埋め込まれている場合、またはDVDオーディオ機器を使用して録音した音楽データの場合は、取り扱えないことがあります。
  - ・著作権者やサービス事業者が音楽データの利用方法に関する条件を音楽データに付加している場合、この条件に従って操作する必要があります。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護に関する取り決めが今後、変更されたり新しい取り決めになったりした場合は、SD-Jukeboxの一部の機能が使えなくなる場合があります。この場合、SD-Jukeboxをアップグレードさせていただく予定です。アップグレードは有償となる場合がありますが、ご了承ください。

# Windowsのエクスプローラに関する制限

- SDメモリーカードはパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラで外部ドライブ（Dドライブなど）として表示されます。
  エクスプローラを使って、SDメモリーカードの音楽データやフォルダーの移動、名前変更、削除、圧縮などをしないでください。音楽データが再生できなくなります。必ずSD-Jukeboxで編集してください。
- パソコン内の音楽データやフォルダーも同様に削除、移動、名前の変更などはしないでください。

# ソフトウェア使用許諾書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっています。

**第1条　権利**
お客様は、本ソフトウェア（CD-ROM、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権もしくは知的財産権がお客様に移転するものではありません。

**第2条　第三者の使用**
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

**第3条　コピーの制限**
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

**第4条　使用コンピューター**
本ソフトウェアは、コンピューター1台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

**第5条　解析、変更または改造**
本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

**第6条　アフターサービス**
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

**第7条　免責**
本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。

**第8条　輸出管理**
お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国および米国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

**第9条　その他**
上記第6条のアフターサービスには、ご愛用者登録が必要です。

# 本ソフトウェアに関するお問い合わせ先

本ソフトウェアのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

**使いかた・お買い物などのご相談**

**ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター**

**365日／受付9時～20時**

**電話 フリーダイヤル 0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

**FAX フリーダイヤル 0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

● ホームページもご覧ください。

http://panasonic.jp/support/audio/
http://panasonic.jp/support/cn/

● お問い合わせいただく前に下記の内容をご確認ください。

| お使いのパソコンの機種名 | メーカー名：<br>機　種　名： |
|---|---|
| メモリー容量 | MB |
| ハードディスクの空き容量 | MB |
| インストールしているOS | □Windows 98/98SE　□Windows ME<br>□Windows XP (Home Edition/Professional)<br>□Windows（　　　　　）<br>□その他（　　　　　） |
| SD-Jukeboxのバージョン※ | SD-Jukebox V______ |
| パソコンに接続している周辺機器やボード | |
| 起動できない、音が出ないなどの症状とその頻度 | |

※ SD-Jukeboxのバージョンについて

バージョンの確認は、SD-Jukeboxを起動後、タスクトレイのSD-Jukeboxアイコンを右ボタンでクリックし、[SD-Jukeboxについて]を選んでください。

SD-Jukeboxアイコン

# さくいんと用語の説明

## A～Z


「Advanced Audio Coding」の略でMPEG-2またはMPEG-4で採用されているオーディオ圧縮方式の1つ。この方式により、高圧縮率でしかも高品質の音楽再生が可能です。

米Gracenote社が提供する、世界中のCDを検索するためのデータベースサービス。CDDBに対応したアプリケーションでCDを再生すると、自動的にCDDBからデータを参照してアーティスト名やタイトルなどの情報がダウンロードされます。

音楽用のCDに曲名などの文字情報を記録する規格。音声データの他に、半角文字を最大6000文字収録することができます。

パソコンに録音したすべての音楽データの集まりのことです。

「MPEG1 AUDIO Layer3」の略でMPEG1に採用されているオーディオ圧縮方式の1つ。MPEG1 AUDIOには、Layer1、Layer2、Layer3の3つの方式が規格化されており、Layer3の圧縮率が最も高く、インターネットなどで使われています。
MPEGは「Moving Picture Experts Group」の略でマルチメディア圧縮符号化を行っている組織が作成した標準規格です。

著作権保護機能を内蔵したメモリーカード。データの転送速度が速く、コンパクトフラッシュよりも薄くて軽くて小さいのが特徴です。

WMAは「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

## あ



## か



次ページへ続く

# さくいんと用語の説明

## さ



## た


パソコンに録音した曲をSDメモリーカードに書き込むことです。

SDメモリーカードにチェックアウトした曲をパソコンに戻すことです。

## は



## ま



## や

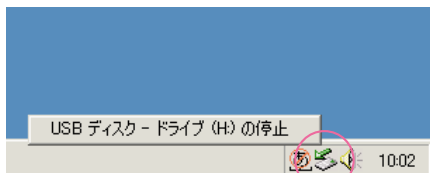


## ら

# お知らせ

## Windows Me® をお使いのお客様へ

SD-Jukeboxを使用後にパソコンの電源を切る時には、あらかじめ、タスクトレイの［ハードウェアの取り外し］アイコンを左クリックして［USBディスクードライブ（※:）の停止］を実行してください。

実行しておかないと、パソコンの電源を正常に切ることができない場合があります。

- 本製品、およびパソコンの不具合により、録音ができない場合や音楽データが破損した場合などのデータの補償についてはご容赦ください。
- 本製品、および本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書では、OSがWindows XP(Home Edition)のときに表示される操作画面例を使用しています。また、本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

- SDロゴは商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS / SOLANA /4C.
- Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows NT、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Media、Windowsロゴは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson multimedia.
- Pentium、MMXは、米国Intel Corporationの登録商標または商標です。
- Sound Blaster 16 は、米国クリエイティブ·テクノロジー社の商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- CDDBは © Gracenoteの登録商標です。
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠.
  Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information go to www.gracenote.com.

  Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a “Gracenote.” CD and music related data from Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ © 2000, 2001 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software © 2000, 2001 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.
  CDDB is a registered trademark of Gracenote. CDDB-Enabled, the Gracenote logo, the CDDB Logo, and the “Powered by Gracenote CDDB” logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.

- M-stage musicとPicwalkはNTTドコモの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

MSC0031CD_J_ZA
MS1002SF1122